

2022年

9月



ちばさぽ通信

Vol.51

集える嬉しさ・つながる楽しみ



【かかしづくり】



【川遊び】



【下和田谷津田】



【森の手入れ】



【コシヒカリの稲刈り】

CONTENTS

● 事業&活動報告

- 千葉市民活動フェスタ実行委員会始動

● Q&A

● ちばさぽの風 Vol.51

● 登録団体活動紹介コーナー

● CatchUp エコメッセ2022inちば

● ちばさぽからのお知らせ

- 千葉市民活動フェスタ参加団体募集
- ちばさぽ交流サロン
- ちばさぽ相談員の紹介

表紙の団体紹介

特定非営利活動法人ちば環境情報センター

環境保全活動についての情報収集や発信、参加体験型の環境学習講座などを行っている団体です。

豊かな生きものを育むための米づくりや森の手入れ、自然観察会などを開催。楽しみながら谷津田保全に取り組んでいます。

編集・発行

千葉市民活動支援センター

指定管理者：特定非営利活動法人まちづくり千葉

〒260-0013 千葉市中央区中央 2-5-1

千葉中央ツインビル2号館9階

TEL：043-227-3081 FAX：043-227-3082

Mail：info@chiba-npo.net

Web：https://chiba-npo.net/

Facebook：https://www.facebook.com/chibasapo



〈開館時間〉

平日・土曜
午前9時～午後9時

日曜・祝日
午前9時～午後6時

〈休館日〉

年末年始
(12月29日～1月3日)



事業&活動報告

千葉市民活動フェスタ2022実行委員会 個性豊かな実行委員9名、始動&日々奮闘中！

テーマは「今年は、シン・フェスタ 未来の千葉が見えてきた」。「シン」を、どう受け止めますか。思いつくイメージを漢字であらわすと、「シン」=新、真、心、親、進、信、伸、普、身、振、清、紳、秦、脈、、、etc。

2022年フェスタ実行委員会は6月23日から始動し、毎回19時～21時まで白熱した議事進行がなされ、8月末までに5回の会議を重ねております。

フェスタ開催に向けて試行錯誤していく様子は、まさに「シン・フェスタ」のテーマそのものだと確信する日々です。それは、

- ①オンラインと対面、ハイブリッド式で開催するということ。
- ②9名の実行委員会メンバーが多彩。10代～70代、男女、新旧経験者のバランスもよく、各自の得意分野も、異彩を放つ。
- ③仕事を終えてからの会議は、リアル&Zoom参加も板につき、シン・ハイブリッド型で開催。毎回はじけるような意見が飛び交う。

④次の会議を待たずに、SNSを駆使したコミュニケーションを取り合い、そこに呼応して行動するスピード感もすごい。

⑤改善に向けて日々何かが進捗することに、事務局もタジタジ。

もはや全員が、ワクワク、ドキドキ、そして楽しみは増すばかり。2022年のフェスタは、日頃の市民活動の成果が、「シン・フェスタ」を通して、私たちが願う、「未来の千葉が見えてきた」に、確かにつながっていくことでしょう。



Q&A? 会議室や談話室の予約はホームページからでもできますか?

申し訳ございませんが、当センターの会議室・談話室の予約手続きを、ホームページから行うことはできません。お手数ですが、「電話または来所」にてお願いいたします。その後できる限り速やかに「使用許可申請書」をメール・FAX等にてご提出ください。

また、抽選申込期間における“抽選の申し込み”については、電話（口頭でのご連絡）では受理できません。必ず「使用

許可申請書」をご提出ください。

（※印刷機の予約についても上記と同様ですが、提出書類の名称（様式）が異なりますのでご注意ください。）

なお、会議室・談話室・印刷機の空き状況については、当センターホームページ（右のQR）から、どなたでもご確認いただけます。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.51

夏休みとボランティア・市民活動

3年ぶりとなる、行動制限のない夏休みを迎えました。しかし、7月に入った頃から、新型コロナウイルスの新規感染者数が急拡大したこともあり、自主的に行動を制限している方も見られます。また、千葉市内でも夏休み恒例の大規模イベントが中止になったり、規模を縮小して開催することになったりしたものもあり、コロナ禍前の夏休みが戻ってきたというにはほど遠い状況だと、多くの方が感じているのではないのでしょうか。やはり子どもたちにとっては、夏休み自体が特別なイベントだと言えると思います。コロナ禍前の生活様式に戻さない方がよいこともあるかもしれませんが、夏休みに限っては、子どもたちが元気よく外で遊んでいる姿が当たり前に見られる、コロナ禍前のような状況に戻ってほしいと願わずにはいられません。

さて、市民活動の世界（当センター）においては、夏休み（7・8月）の特徴が二つあると感じています。一つは、センターの入館者数が、4月から6月と比べて減少する（多くの年でそういったデータが現れている）ということです。これは暑さが厳しいため、定期的に活動をしている団体も“夏休み”とするところが多いからではないのでしょうか。

もう一つは、夏休みを利用してボランティア活動や市民活動の体験（「ボランティア体験」と呼ぶことにします）をし

ようとする人が増えるということです。当センターにも例年、学生さんなどが「夏休みにボランティア体験をしたいのですが」といった相談に来られるケースが見られます。ところが今年は、そういった相談に来る方が残念ながら少ない状況です。一概には言い切れませんが、コロナの影響もあるのではないかと考えます。ボランティア活動は人と接する内容のもの（場面）が多いので、そういったことが敬遠されているのかもしれませんが、受け入れ側も、コロナ禍が続いているため、ボランティアの募集を見合わせている団体が多いのが実情です。

最近、「リモート・ボランティア」なる言葉を目にしました。例えば、自宅で絵手紙を書いて高齢者施設に送るといった、人と直接接しなくてもできるボランティア活動のことを言うようです。こうした活動はコロナ禍前からあったと思いますが、忙しい人でも参加できるというメリットもあるので、今後「リモート・ボランティア」が広がっていくかもしれませんね。ただ個人的には、コロナが終息したら、人と直接接し合う活動をおススメしたいというのが本音ではあります...。（は）



登録団体活動紹介コーナー

教科書と教育を考える千葉県民の会

活動エリア▶千葉県
所在地▶八千代市
連絡先▶047-482-7447 nabesann.k.m@jcom.home.ne.jp
担当者氏名▶川鍋 光弘

子ども達の豊かな明るい育ちをすすめるために、史実に基づいた教科書の採択や仲の良い学校の確立を目指して、2011年以来活動を続けています。不登校やいじめ・暴力指導などさまざまな課題について教育委員会との話し合いや、研究者・弁護士・教員など教育関係者との学習会や集会を行っています。これからも私たち市民の力で平和と民主主義の教育を守って行きます。



あるあるコール おしゃべりサロン

活動エリア▶千葉市
所在地▶千葉市
連絡先▶alalcallfamilysalon@gmail.com
担当者氏名▶山川



家族のお酒のことで困っている方のためのおしゃべりサロンです。同じ状況の人達が集まり、悩みや苦しみを分かち合います。また、アルコール依存症についての正しい知識を得て、依存者本人への適切な対応を学びます。お近くにお困りの方がいらっしゃいましたら、ご案内ください。詳細は当サロンのHPをご覧ください。

<https://al-al-call.amebaownd.com/>



特定非営利活動法人千葉レスキューサポートバイク(NPO千葉RB)

活動エリア▶千葉県全域
所在地▶千葉県松戸市
連絡先▶crb-office@chiba-rb.or.jp
担当者氏名▶岡田 徹(副理事長)



千葉RBは千葉県在住のバイク愛好者を中心として組織されたボランティア団体で、災害発生時にバイクの機動性を生かした災害救援活動の支援を活動を行っています。2019年の房総台風の際には千葉県災害ボランティアセンターの運営支援を行い、県内各地に設置された災害ボランティアセンターの設置、運営の支援を行いました。平時は防災講演会等の講師も受託しています。



NPO法人市民後見センターすまいる

活動エリア▶千葉市、木更津市
所在地▶千葉市美浜区
連絡先▶080-4771-7634 info@nposmile.net
担当者氏名▶仙波 靖夫

成年後見制度は、認知症などの理由で判断能力が不十分な人の財産や権利を保護し、支援する制度です。すでに判断能力が低下した人のためには「法定後見制度」、いま元気が将来が不安な人のためには「任意後見制度」があります。私たちは、個人の尊厳を第一に考え、より良い後見を目指し、成年後見制度についての勉強会、利用についての相談、支援を行っています。



CatchUp

「エコメッセ2022inちば」にご注目!

「エコメッセちば」は、持続可能な社会の実現をメインテーマに、千葉市の幕張新都心を舞台に1996年から開催され、今年で何と27回目となる、千葉県最大の環境活動見本市です。市民・企業・学校・行政による連携・協働の取り組みを促進し、活動の普及啓発や、団体同士の交流の場とすることを目標としています。

今年のテーマは、「people:笑顔のバトンをつなげよう」。オンライン出展(動画配信)と会場出展を組み合わせ、10月22日から開催予定で準備が進められています。現時点(8月中旬)では、オンライン出展の募集が継続中であり、また、会場での具体的なプログラムは発表されていませんが、どのような企画が行われるか、これからの動きに注目です!

詳しくは、右記のホームページをご覧ください。

第27回 つながれ、ひろがれ、エコメッセ「千葉県最大の環境活動見本市」 エコメッセ2022 inちば

今年テーマ people:笑顔のバトンをつなげよう

《開催概要》

名称▶第27回エコメッセ2022inちば

会期▶オンライン(動画配信)出展 2022年10月22日(土)~
会場出展 2022年10月23日(日) 10:00~16:00

会場▶幕張メッセ国際会議場コンベンションホール

主催▶エコメッセちば実行委員会

(※新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により、会場開催が中止となる場合があります。)

★お問合せ(エコメッセちば実行委員会事務局)

TEL : 080-5374-0019

E-mail : info@ecomesse.com

URL : <https://www.ecomesse.com>



ちばさぼからのお知らせ

■千葉市民活動フェスタ2022参加団体募集

今年は、シン・フェスタ 未来の千葉が見えてきた

見出しに掲げたのは、今年のフェスタのテーマです。千葉市民活動フェスタは、市民公益活動を広く知ってもらい、団体や関係機関の交流を深め、活動を活性化させるのが目標。コロナ禍でも、毎年知恵を絞って新しい展開をしています。参加してわかる面白さもあり、活動のヒントが見つかるかもしれません。参加して一緒にフェスタを盛り上げませんか。



パネル展示に代えて始まったウェブ上の「団体紹介ページ」は、写真や動画も掲載できるので、PRの場として活用できます。さらに、今年は思い切って対面のプログラムを復活。顔を合わせてこそできる「相談」や「体験」を、きぼーるアトリウムで行います。制約は多いのですが「物販」のスペースも作りますので、PRと資金集めを兼ねての出展はいかがでしょう。

未来の千葉に向けて、いろいろな「シン」が詰まった新しい千葉市民活動フェスタに、ぜひご参加ください。初めての団体でも参加しやすいよう、説明ビデオをはじめ、動画をつくるワークショップなどバックアップ体制も次第に整えています。

.....千葉市民活動フェスタ2022.....

- オンラインプログラム：特設ウェブサイト
2022年11月6日(日)~12月4日(日)
- 対面プログラム：きぼーるアトリウム(千葉市中央区中央4-5-1)
2022年11月19日(土)1日のみ

参加の手引き・参加申込書・参加説明ビデオは下記から
<https://chiba-npo.net/archives/10329/>
参加希望の団体は「参加説明ビデオ」を必ず視聴ください。(説明会はありません。)
参加申込受付終了は10月2日(日)17時です。



■第2回ちばさぼ交流サロン開催

今回は、「松ヶ丘中学校地区地域運営委員会」の方をお招きし、地域活動の事例を紹介していただきながら、地域の様々な団体が協力し合って進める「まちづくり」を考え、意見交換する交流サロンを行います。地域で活動する町内自治会や市民活動団体などが一緒に活動するきっかけづくりとして、お気軽にご参加ください。

- 日時▶2022年10月22日(土) 10:00~12:00
- 会場▶千葉市民活動支援センター会議室
- 定員▶20名程度(お申込み先着順)
- 参加費▶無料

○お申込み方法(すべての事業共通)

千葉市民活動支援センターまで、メール、FAX、TELにて、以下の項目をご連絡ください。

- ①事業名、②お名前、③ご住所(市区町村名まで可)
- ④連絡先(電話またはメール)、⑤所属団体(あれば)

ちばさぼ相談員の紹介(その2)

日野達弥(ひのたつや)

行政書士
日野行政書士事務所代表
第4火曜日担当相談員
(行政書士相談)



【プロフィール】

30年間千葉市役所の財政、福祉部門等に勤務。平成23年7月行政書士登録、同年、日野行政書士事務所開設。千葉市緑区土気町出身、在住。

千葉県行政書士会所属 相続部会役員、千葉市市民相談員、自動車登録関係、相続関係全般、NPO法人設立等を始めとする行政書士業務を受託。

花びと会ちば副会長、土気中央町内会永久顧問、赤十字救急法・幼児安全法指導員、行政書士には珍しい自動車整備士、コンサートやライブの音響機材持ち込みによるPA(サウンドエンジニアリング)請負も実施中。



オンラインでもっと便利に

先日、電車を乗り越してしまいました。戻っても打合せには完全に間に合いません。焦って相手の方に電話したところ「じゃ、このままZoomで会議にしましょう」と軽やかに言われ、無事に打合せをすることができました。

先日ある発表会では出演者の方が、デュエットの練習をLINEで。別の会では、年齢の関係で遠くまで来られない親戚が増えたので、法事をZoomでしてみたという経験談も。色々な活用ができるものですね。

コロナ禍で生じた数少ないメリットの 하나가、活動や会議にオンラインを取り入れる団体が増えたということではないでしょうか。シニア世代も、孫の動画を見たり、直接話もできるからと、意外に多くの方がLINEを使いこなしておられます。食わず嫌いはやめて使ってみませんか。かなり便利なものですよ。



編集後記

■もう稲刈りが始まっています。季節はもう秋?危険な暑さを避け家にばかりいる私は置いてきぼり(汗)(な)
■実行委員会によって着々と準備が進んでいるフェスタ。今年はどんな開催になるのか楽しみです。(よ)
■9月と言えば秋、秋と言えば食欲ですよ(笑)。いまから楽しみです(ふ) ■自宅で使っているプラスチック製の洗濯ばさみが次々と劣化。環境に配慮して、次からはステンレス製を購入しようと思います。(は) ■11月のちばさぼフェスタ、実行委員会企画「シン・フェスタ」に右往左往のシン・スタッフです。(ひ) ■10月から11月にかけて自分が関連するイベントが目白押し!ちゃんと開催できることを今から祈ってます。(か) ■今年は、感謝の気持ちを伝える言葉や動作・表情などについて、あらためて考えさせられる年となりました。(り) ■「実りの秋」を前に、自然の猛威を実感するばかりの夏でした。中秋の名月は穏やかな気持ちで眺めたいものです。フェスタに向けて皆さま健康管理を第一に。(や)